



## 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月3日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション  
コード番号 1712 URL <http://www.daiseki-eco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 村上 実

TEL 052-611-6350

四半期報告書提出予定日 平成26年10月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	5,969	24.1	687	26.5	687	27.2	407	37.4
26年2月期第2四半期	4,807	27.3	543	81.0	540	76.7	296	89.0

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 464百万円 (12.9%) 26年2月期第2四半期 411百万円 (138.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	58.28	—
26年2月期第2四半期	49.49	—

当社は、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式を100株とする単元制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度(平成26年2月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定してを1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	10,435		8,042			75.5
26年2月期	10,774		7,653			69.7

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 7,885百万円 26年2月期 7,511百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,810	11.5	1,408	8.5	1,400	10.5	781	9.6	111.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	6,986,300 株	26年2月期	6,986,300 株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	— 株	26年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	6,986,300 株	26年2月期2Q	5,986,300 株

当社は、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式を100株とする単元制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度(平成26年2月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて判断しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策の効果を背景に、企業収益は改善傾向を維持し、設備投資も増加する等全体的には緩やかな回復基調となりました。一方、個人消費は弱含みで推移する等、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減による影響もみられました。また、海外経済は、米国をはじめとする先進国を中心に回復傾向にあるものの、中国や新興国の成長鈍化や、輸入原材料価格の高騰等の影響による国内景気の下押しリスクは払しょくされておらず、先行きは引き続き不透明感が残る状況で推移しました。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況は、地価の下落基調からの転換も徐々に進み、土地取引も概ね堅調に推移したものの、国内の住宅市場においては、駆け込み需要の反動減が続いており、新設住宅着工戸数が前年比減少傾向に転じる等、当社グループを取り巻く環境も一部懸念材料を抱えた状況で推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,969百万円（前年同期比24.1%増）となりました。また、引き続き広範囲にわたる原価低減を進めてまいりました結果、利益面では営業利益687百万円（同26.5%増）、経常利益687百万円（同27.2%増）、四半期純利益407百万円（同37.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (土壌汚染調査・処理事業)

設備投資は回復傾向にあるものの、投資意欲の本格的な盛り上がりには今少し時間がかかる状況ではありますが、不動産市況の回復を下支えとし、営業体制の強化及びグループ会社間の連携強化による情報収集の強化等、新たな需要の開拓に注力してまいりました結果、売上高5,308百万円（前年同期比24.6%増）、営業利益748百万円（同28.1%増）となりました。

#### (廃石膏ボードリサイクル事業)

消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減による影響を受け、廃石膏ボードの荷動きも伸び悩むこととなりました。その結果、売上高353百万円（同1.9%減）、営業利益69百万円（同26.5%減）となりました。

#### (その他)

廃バッテリー等の荷動きは減少しましたが、バイオディーゼル燃料の出荷が堅調に推移したこと等により、売上高391百万円（同56.0%増）、営業利益70百万円（同27.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 1. 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は10,435百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりであります。

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末比で1,085百万円減少し、3,441百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少1,080百万円等によるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末比で743百万円増加し、6,994百万円となりました。これは主に、土地の増加709百万円等によるものであります。

#### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末比で798万円減少し、2,094百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少454百万円、未払金の減少135百万円、前受金の減少77百万円等によるものであります。

#### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末比で67百万円増加し、298百万円となりました。これは主に、リース債務の増加58百万円等によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比で389百万円増加し、8,042百万円となりました。これは主に、四半期純利益407百万円等によるものであります。

## 2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,080百万円減少し798百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益703百万円、減価償却費149百万円等があったものの、法人税等の支払額581百万円、売上債権の増加215百万円、仕入債務の減少162百万円等により、総額で152百万円の支出（前年同期は475百万円の収入）となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出817百万円等により、総額で813百万円の支出（前年同期比131.1%増）となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額69百万円等により、総額で115百万円の支出（前年同期は194百万円の収入）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年4月9日付「平成26年2月期決算短信（連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,878,776	798,223
受取手形及び売掛金	2,014,497	2,150,065
たな卸資産	410,371	263,526
その他	248,018	259,183
貸倒引当金	△27,987	△29,945
流動資産合計	4,523,677	3,441,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,372,715	1,299,556
土地	3,778,433	4,487,589
その他(純額)	519,210	560,914
有形固定資産合計	5,670,359	6,348,059
無形固定資産	4,797	3,087
投資その他の資産		
その他	616,272	685,971
貸倒引当金	△40,506	△42,235
投資その他の資産合計	575,765	643,736
固定資産合計	6,250,922	6,994,883
資産合計	10,774,600	10,435,936
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	825,480	814,091
短期借入金	860,216	850,000
未払法人税等	589,365	134,595
引当金	37,104	36,334
その他	578,092	259,932
流動負債合計	2,890,258	2,094,953
固定負債		
引当金	155,747	164,499
その他	75,381	133,836
固定負債合計	231,128	298,335
負債合計	3,121,387	2,393,288

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,248,438	2,248,438
資本剰余金	2,043,951	2,043,951
利益剰余金	3,135,367	3,472,674
株主資本合計	7,427,757	7,765,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83,395	120,450
その他の包括利益累計額合計	83,395	120,450
少数株主持分	142,059	157,133
純資産合計	7,653,213	8,042,648
負債純資産合計	10,774,600	10,435,936

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	4,807,016	5,969,794
売上原価	3,833,287	4,858,372
売上総利益	973,729	1,111,421
販売費及び一般管理費	430,575	423,857
営業利益	543,153	687,564
営業外収益		
受取利息	157	49
受取配当金	2,450	2,730
受取地代家賃	6,198	7,308
その他	3,243	6,187
営業外収益合計	12,048	16,275
営業外費用		
支払利息	1,987	1,404
固定資産賃貸費用	10,985	11,508
その他	1,568	3,197
営業外費用合計	14,540	16,110
経常利益	540,661	687,729
特別利益		
固定資産売却益	—	16,299
特別利益合計	—	16,299
特別損失		
固定資産除却損	725	775
特別損失合計	725	775
税金等調整前四半期純利益	539,936	703,253
法人税、住民税及び事業税	251,559	134,747
法人税等調整額	△33,969	141,294
法人税等合計	217,589	276,041
少数株主損益調整前四半期純利益	322,346	427,211
少数株主利益	26,066	20,041
四半期純利益	296,279	407,169



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	322,346	427,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88,786	37,054
その他の包括利益合計	88,786	37,054
四半期包括利益	411,133	464,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	385,066	444,224
少数株主に係る四半期包括利益	26,066	20,041

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	539,936	703,253
減価償却費	151,785	149,882
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44,312	3,686
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,121	△770
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,642	9,587
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,472	△835
受取利息及び受取配当金	△2,607	△2,779
支払利息	1,987	1,404
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△16,299
有形固定資産除却損	725	775
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,221	△215,786
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△252,556	146,845
仕入債務の増減額 (△は減少)	41,575	△162,444
その他	82,086	△187,948
小計	596,259	428,569
利息及び配当金の受取額	2,608	2,780
利息の支払額	△1,887	△1,405
法人税等の支払額	△121,393	△581,983
営業活動によるキャッシュ・フロー	475,587	△152,039
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△472,608	△817,682
有形固定資産の売却による収入	252,955	16,300
貸付けによる支出	△70,000	△51,831
貸付金の回収による収入	260	3,530
関係会社株式の売却による収入	—	7,200
関係会社株式の取得による支出	△56,400	—
その他	△6,042	29,358
投資活動によるキャッシュ・フロー	△351,835	△813,125
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	350,000	—
長期借入金の返済による支出	△108,249	△10,216
配当金の支払額	△35,799	△69,699
少数株主への配当金の支払額	△4,140	△4,968
その他	△7,665	△30,503
財務活動によるキャッシュ・フロー	194,146	△115,387
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	317,898	△1,080,553
現金及び現金同等物の期首残高	259,663	1,878,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	577,562	798,223

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染調査・処理事業	廃石膏ボードリサイクル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,259,217	359,596	4,618,813	188,203	4,807,016	—	4,807,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,203	1,203	62,374	63,578	△63,578	—
計	4,259,217	360,800	4,620,017	250,577	4,870,595	△63,578	4,807,016
セグメント利益	583,566	94,704	678,271	55,372	733,644	△190,490	543,153

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△190,490千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染調査・処理事業	廃石膏ボードリサイクル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,308,564	351,778	5,660,343	309,451	5,969,794	—	5,969,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,824	1,824	81,566	83,390	△83,390	—
計	5,308,564	353,602	5,662,167	391,017	6,053,185	△83,390	5,969,794
セグメント利益	748,129	69,599	817,728	70,419	888,147	△200,583	687,564

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△200,583千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。